



トピックス 分野別情報 新着情報 委員会からのお知らせ リスク評価 意見募集等 意見交換等 用語集 法令等 リンク集

国民の健康と安全のために。

食品安全委員会は、国民の健康の保護が最も重要であるという基本的認識の下、食品を摂取することによる健康への悪影響について科学的知見に基づき客観的かつ中立公正に評価を行う機関です。



重要なお知らせ

2008.01.30 中国産冷凍ギョウザが原因と疑われる健康被害事例の発生等について[PDF][平成20年2月7日更新]

新着情報

詳細はこちらをご覧ください



「食品安全委員会 e-マガジン」会員募集中！

ご登録はこちら

○平成20年度食品安全モニターの募集について(お知らせ)

食品安全委員会では、平成20年1月11日(金)から平成20年2月12日(火)17:00 までの間、平成20年度食品安全モニターを募集しています。

○ノロウイルス食中毒に注意しましょう！

2008.02.07

重要なお知らせ ベンゾカインに係る食品健康影響評価に関する審議結果(案)についての御意見・情報の募集について【意見募集期間:2月7日～3月7日】

重要なお知らせ 鶏サルモネラ症(サルモネラ・エンテリティディス・サルモネラ・ティフィムリウム)(アジュバント加)不活化ワクチン(「京都微研、ポールセーバーSE/ST)に係る食品健康影響評価に関する審議結果(案)についての御意見・情報の募集について【意見募集期間:2月7日～3月7日】

2008.02.05

重要なお知らせ 食品安全委員会農業専門調査会確認評価第一部会(第14回)の開催について(非公開)【開催日:2月12日】

重要なお知らせ 「食品の安全性に関するリスクコミュニケーター育成講座(北海道)」の開催と参加者の募集について【開催日:3月5日】

2008.02.04

重要なお知らせ 「食品の安全性に関する地域の指導者育成講座(兵庫県)」の開催と参加者の募集について【開催日:3月4日】

重要なお知らせ 食品安全委員会事務局 技術参与(非常勤)の募集について[PDF]

詳細な新着情報はここをご覧ください。

食品安全委員会からのお知らせ

食品安全委員会開催情報

- ▶ 今後の開催予定
- ▶ 委員会開催実績(議事録・配布資料)
- ▶ 案内図

食品安全委員会について

- ▶ 委員会の概要と構成
- ▶ 委員会の役割
- ▶ 食品安全委員会委員名簿

分野別情報(専門調査会別情報)

- ▶ 企画
- ▶ リスクコミュニケーション
- ▶ 緊急時対応
- ▶ 器具・容器包装
- ▶ 化学物質・汚染物質
- ▶ 微生物・ウイルス
- ▶ かび毒・自然毒等
- ▶ 遺伝子組換え食品等
- ▶ 新開発食品

ホットトピック

- ▶ 重要なお知らせ(委員長談話など)
- ▶ トピックス
 - ▶ 食中毒
 - ▶ BSE及びvCJD
 - ▶ 大豆イソフラボン
- ▶ ファクトシート(科学的知見に基づく要約書)
 - ▶ 加工食品中のアクリルアミド(更新)、牛の成長促進を目的として使用されているホルモン剤(肥育ホルモン剤)、臭素酸カリウム等

映像配信

- ▶ 「気になる農薬」(映像配信中)
- ▶ 「遺伝子組換え食品って何だろう?」(映像配信中)
- ▶ 政府広報番組「ドゥ! JAPAN」見上 杉委員長出演(映像配信中)
- ▶ 「国民の健康と安全のために～食品安全委員会の役割と取り組み～」

リスク評価(評価結果など)

- ▶ 食品健康影響評価の審議状況[PDF]

一般の方向けの解説をお探しの方

詳しい審議状況や評価結果をお探しの方へ

相談受付(食の安全ダイヤル)

- ▶ 相談受付(メール窓口)
- ▶ FAQ

Q 食品安全総合情報システム

食品安全委員会が保有する、食品の安全性に関する情報を、資料の種類別に整理したデータベースです。

検索画面へ

English Page

Click here to access English resources including general information, risk assessment reports and food safety-related topics.

キッズボックス

食品安全委員会季刊誌「食品安全」

パンフレット

平成20年1月30日 18:00

平成20年2月 7日 18:20 (第11版)

中国産冷凍ギョウザが原因と疑われる健康被害事例の発生等について

- 中国産冷凍ギョウザが原因と思われる健康被害事例の発生について、厚生労働省、農林水産省並びに国民生活センターが情報提供していますので、お知らせします。

当該食品については、関係機関及び関係事業者により、消費者への注意喚起、販売の中止、回収等の措置がとられているところです。

現在、関係機関が調査を行っているところですが、包材及び嘔吐物中のギョウザ並びにパッケージなどから有機リン系殺虫剤のメタミドホスが検出されたと報告されています。

なお、日本においてメタミドホスの農薬登録はなく、農薬取締法に基づき国内での使用は禁止されています。

食品安全委員会では、メタミドホスに関する情報を提供しています。

- また、日本生活協同組合連合会から厚生労働省に、生協で販売された中国産冷凍ギョウザ（現在回収対象となっている製品と同一製造者、同一製品）について、生協商品検査センターで検査したところ、有機リン系殺虫剤ジクロロボスが検出されたとの連絡がありました。（2月5日）

食品安全委員会では、ジクロロボスの概要について情報提供しています。

詳しくは下記の情報をご覧ください。

1. 関係省庁からの情報提供

- 厚生労働省

トップページの「緊急情報」に最新の情報が掲載されます。

(<http://www.mhlw.go.jp/index.html>)

「中国産冷凍ギョウザが原因と疑われる健康被害事例の発生について」

(<http://www.mhlw.go.jp/topics/bukyoku/iyaku/syoku-anzen/china-gyoza/index.html>)

- 農林水産省 「中国産冷凍ギョウザが原因と疑われる健康被害事例関連情報」

(http://www.maff.go.jp/j/syouan/0801_gyoza/index.html)

- 国民生活センター 「中国産冷凍ギョウザ等最新情報」

(http://www.kokusen.go.jp/soudan_now/data/sn-20080131.html)

2. 関係自治体からの情報提供

- 千葉県ホームページ「食中毒の発生について」

(http://www.pref.chiba.lg.jp/syozoku/c_eisi/date/presukannkei19/shokuchuudoku200130.html)

- 兵庫県ホームページ「中国産冷凍ギョウザに係る健康被害事例の発生について」

(http://web.pref.hyogo.jp/hw14/hw14_000000079.html)

- 東京都ホームページ「冷凍餃子が原因と疑われる健康被害事例の発生について」

(<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/hodo/pressshokuhin080130/index.html>)

3. 回収対象製品情報

- 日本たばこ産業株式会社「お詫びとお知らせ」
(http://www.jti.co.jp/JTI/attention/about_recall_index.html)
- 日本生活協同連合会「緊急のお知らせ」
(<http://jccu.coop/>)
- 株式会社加ト吉
(<http://www.katokichi.co.jp/>)
- 江崎グリコ株式会社「レトルト食品「DONBURI亭かつとじ丼」自主回収について」
(<http://www.glico.co.jp/info/20080131/index.htm>)
- 味の素冷凍食品株式会社「お詫びと商品回収のお知らせ」
(<http://www.ffa.ajinomoto.com/information/kaisyu.html??top=ffaInfKaisyu>)
- マルハ株式会社「お詫びとお知らせ（「金のどんぶり」回収方法等）」
(http://www.maruha.co.jp/press/pdf/080131kindon_owabi_to_oshirase_yoko.doc.pdf)
- カネテツデリカフーズ株式会社「商品回収のお知らせ」
(<http://www.kanetetsu.com/2008131.html>)
- 株式会社 神戸物産
(<http://www.kobebussan.co.jp/>)
- 日本ハム株式会社「天洋食品製造の業務用商品に関する回収状況について」
(<http://www.nipponham.co.jp/news/2008/0204/index.html>)
- 株式会社 紀文食品「お詫びと商品回収のお知らせ」
(<http://www.kibun.co.jp/ichiran/20080131254.html>)

4. メタミドホスについて

- メタミドホスの概要について（食品安全委員会）（PDF）
- メタミドホスのハザード情報シート（食品安全委員会）（PDF）

5. ジクロルボスについて

- ジクロルボスの概要について（食品安全委員会）（PDF）
- ジクロルボスの残留基準一覧（財団法人 日本食品化学研究振興財団）
(http://m5.ws001.squarestart.ne.jp/zaidan/agrdtl.php?a_inq=27600)

・当該食品を摂食し、体調に異変がある場合は、お近くの医療機関にご相談ください。
(参考) 厚生労働省より都道府県等に係る相談窓口の連絡先が発表されております。
<http://www.mhlw.go.jp/houdou/2008/02/dl/h0206-4a.pdf>

農薬ジクロロボスの概要について

- 用途：殺虫剤（有機リン系）
農薬として野菜、果樹等に使用される。
- 国内登録の有無：
日本において農薬登録がある。
毒物及び劇物取締法の劇物に指定されている。
国内流通量は、平成 18 農薬年度（平成 17 年 10 月～平成 18 年 9 月）では、
本成分を含む農薬の出荷量は、くん煙剤が 49 トン、くん蒸剤が 33 トン、乳
剤が 427 トン。（農薬要覧 2007）
- 国内外での残留基準設定状況：
Codex（国際機関）、米国、豪州等で残留基準が設定されている。
日本においては、米（玄米）、きゅうり、りんご等に残留基準が設定されて
いるほか、ポジティブリスト制度導入に際して、Codex、米国、豪州における
基準を参考に、畜産物等（牛の筋肉、乳等）に暫定基準が設定されている。
- 海外での評価状況、一日摂取許容量（ADI※1）等：
JMPR（国際機関） ADI：0.004 mg/kg 体重/日
 ※1 毎日一生食べ続けても健康に悪影響が生じないと推定される量。

米国 cRfD（慢性参照量※2）：0.0005 mg/kg 体重/日
 ※2 慢性参照用量とは、米国で ADI と同意で用いられる用語。
 ARfD（急性参照量※3）：0.008 mg/kg 体重/日
 ※3 24 時間又はそれより短時間の経口摂取により健康に悪影響を示さないと
 推定される量。

（注）上記の用途のほか、ジクロロボスは動物用医薬品及び医薬品として承認
されている。（馬用の寄生虫駆除剤、畜・鶏舎などの害虫駆除剤（ハエ、カ）、
家庭用殺虫剤（ゴキブリ、ハエ等）など）